



発行 令和2年 10月30日(金)
発行人 郡山市小学校長会長 大和田正恵
編集 郡山市小学校校長会 広報部

あなたの座右の銘は 郡山市小学校長会副会長 佐藤 勉

「あなたの座右の銘は何ですか」私の座右の銘は「人間万事が塞翁が馬」でした。何があっても前向きに進むイメージを大切にしたいと考えておりました。しかし、昇任審査を受けるようになり、「あなたの座右の銘は」と聞かれた時、「人間万事が・・・」と答えるには、少し抵抗があります。何かよい言葉がないかと探しておりました。

そんな時に出会った言葉が「一隅（いちぐう）を照らす」です。実家、二本松にある祖父母、そして父が眠る天台宗のお寺の入口にその言葉がありました。石碑に刻まれていたのは、「一隅（いちぐう）を照らす、これすなわち国の宝なり」という比叡山延暦寺の開祖である最澄の言葉です。以来、「座右の銘は」と尋ねられた時には、「一隅（いちぐう）を照らす」と答えるように準備しています。残念ながら、審査の際に聞かれたことはありませんし、誠に残念ながら、未だかつて誰も聞いてくれません。

「一隅（いちぐう）とは、今、あなたがいる、その場所です。あなたが、あなたの置かれている場所や立場で、ベストを尽くして照らしてください。あなたが光れば、あなたのお隣も光ります。町や社会が光ります。小さな光が集まって、日本を、世界を、やがて地球を照らします。あなたの一隅から世界を照らしましょう！一人ひとりが輝きあい、手をつなぐことができれば、みんなが幸せになり、すばらしい世界が生まれます。」（一隅を照らす運動ホームページより）

何か課題があった時、最後にはこの言葉を

抛り所としています。校長としてビジョンを描き、組織的に対応することは、校長の職務であります。しかし、最終的に私が抛り所するのは、「一隅（いちぐう）を照らすこと」です。

最近、この思いを強くする場面が多々あります。子どもたちに寄り添い、保護者と丁寧に接する先生方の姿を見る時です。特に、困り感の強い子どもと接する姿には頭が下がります。目の前の子どもたちの将来の幸せを考えて、今に向き合う先生の姿。まさしく「一隅（いちぐう）を照らす」姿であると勝手に思い、目頭を勝手にあつくしています。

「あなたの座右の銘は何ですか」後付けではありますが、「一隅（いちぐう）を照らす」と躊躇なく答えられるよう、日々、修行を重ねていきたいと思っています。しかし、動機が不純であるためか、雑念が入る日々です。

最後に、「他にはないのですか」と追加質問された場合に準備していた 相田みつをさんの作品の一つ。

「めぐりあい」
あなたにめぐり
あえてほんとうに
よかった
ひとりでもいい
ころから
そういつてくれる
ひとがあれば みつを

「もっとないのですか」と聞かれた時は・・・・・・・・

もういいですね。最後まで目を通していただきありがとうございました。